

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	当院における脳出血に対する内視鏡的血腫除去術と開頭血腫除去術の変遷
研究責任者	代表;脳卒中科・脳神経外科 山添知宏 分担研究者;脳卒中科・脳神経外科 川路博史、中戸川裕一、稲永親憲、林正孝、佐藤史崇
研究実施体制	当院で脳出血に対して内視鏡的血腫除去術もしくは開頭血腫除去術を受けられた方の手術成績や術後の予後を調査します。
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2023年 3月
対象者	2012年11月から2022年3月までで脳出血に対して内視鏡血腫除去術もしくは開頭血腫除去術を受けられた患者。
研究の意義・目的	内視鏡血腫除去術が普及し、更に当院では術中CTが導入され、その変遷に伴う内視鏡血腫除去術の安全・確実性の変化を検討します。また、従来の開頭血腫除去術に与えた影響を調査します。
研究の方法	【対象患者】2012年11月から2022年3月までで脳出血に対して内視鏡血腫除去術もしくは開頭血腫除去術を受けられた患者。 【除外基準】外傷での脳出血 【予定症例数】125例 【症例数の設定根拠】当院で対象患者となる見込み症例数を設定した。 診療録から術前後の意識状態と血腫除去率、入院期間、転院先等を評価します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 脳卒中科・脳神経外科 (氏名) 山添 知宏 TEL:053-474-2222(代表) 脳神経外科外来 9:00~17:00 平日